

令和 8 年度おかやま協働のまちづくり賞応募募用紙

令和 8 年 7 月 1 日

岡山市長 様

応募者代表 団体名 一般社団法人 GranSeed
氏 名 代表理事・佐々木祐介

令和 8 年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

募集テーマ：「スポーツで広がる協働のまちづくり」

取組の名称	部活動と両立できる新たな選択肢、『中学生サッカースクール』
取組の概要 インターネット投票を行うサイトにそのまま掲載します。 今年のテーマとの関連がわかるよう、目的及び取組概要、アピールポイントを 300 字（句読点含む）以内で記載してください。	中学生が「サッカーをしたい」と思った場合、通っている中学のサッカー部に所属をするか、地域のクラブチームに所属をするか、の 2 択になっています。費用面・プレー強度のレベル・通いやすさなどからクラブチームではなく、部活動を選択する子も多い一方で、部活動は先生方の働き方改革などもあり「練習時間が短い」「基礎技術をもっと磨きたい」と思っているサッカー部所属の中学生も多数います。そんな子たちの需要に応えるべく、所属チームに関係なく誰でも通える「中学生サッカースクール」を開催し、部活動と両立できる新たな選択肢（環境）を中学生に提供しています。

成果・効果 取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などを書いてください。	(1) 週に 1 回程度、中学生サッカースクールを開催し、定期的に選手たちがサッカーを楽しめる、成長できる環境を作り提供しています 様々な事情でクラブチームではなく部活動を選択した中学生たちに、もっと成長できる機会を提供することで、中体連サッカー部の底上げに貢献しています。 通ってくれている中学生は、色々な学校に所属しており、チーム・地域の枠を超えて、学び合う(高めあう)環境となっています。 練習内容は、基礎技術を徹底し、日頃部活動では補いにくい部分にフォーカスを当てて取り組んでいます。 中学生からヒアリングをするに、部活動は担当の先生(顧問の先生)によって活動量や練習内容に差があります。小学校からサッカーを続けていてサッカーが大好きな選手は「もっと上手になりたい」「もっと練習したい」と思っている子も多く、その子たちが存分にプレーできる、成長できる環境を提供しています。また、中学校からサッカーを始める子もいるため、その子達が基礎技術を身につけるための場所としても需要があります。 (2) 年間で 6 回程度、就実高校サッカー部さんと提携し、「現役高校生が教える、中学生サッカースクール」と言うのも開催しています。 就実高校サッカー部は選手権やインターハイの岡山県大会で準優勝したり、毎年のようにベスト 4 まで勝ち上がる強豪校である一方で、文武両道を掲げ人間的な教育にも力を入れています。サッカー部に所属する中学生にとっては、就実高校サッカー部の選手は憧れの存在でもあり、そんな高校生から直接指導してもらえるこのサッカースクールは大変人気の企画となっています。 また、教える側の高校生にとっても非常に良い経験となっています。自分がプレーするだけでなく、教える側になることで理解が深まり、日頃自分が教えてもらっていることに感謝の気持ちを持てるようになります。 更に、このスクールに参加した中学生やその家族は就実高校を応援するようになり、ファン増加にも繋がっています。実際にこのスクールに参加して「就実高校サッカー部を目指します」と言う中学生も出てきています。 フィールドプレーヤーだけでなく、ゴールキーパーも専門的な指導が受けられるため、「キーパーの専門的な指導を受けたい」と言う中学生の需要にも応えることができます。
--	--

●次の書類等を添付してください。

①〔様式 1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

②〔様式 2〕 取組実施団体概要書

③写真等取組イメージ画像の電子データ（1 枚）

インターネット投票を行う際のエントリー一覧に使用します。エントリー一覧は、応募順（事務局受付順）に掲載します。

④取組内容や成果、協働の役割などをわかりやすくまとめたシート（デジタルデータ） 1 枚

シートをもとに、事務局でポスターを作成し、展示等を行います（シートの作成が技術的に困難な場合は早めにご相談ください。シートづくりをお手伝いします。）

⑤その他取組の説明資料：A 4 で 2 ページ以内の資料を添付できます。

※提出していただいた書類等はすべて審査の対象となり、〔様式 2〕 以外は原則、ホームページ等で公開します。

〔様式 1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	部活動と両立できる新たな選択肢、『中学生サッカースクール』
テーマとの関連	◎取組とテーマが合致している点を書いてください。 岡山市内に小学生向けのサッカースクールは多数存在していますが、中学生向けのサッカースクールはほとんどありません。中学生がサッカーを続ける環境は、随分と限られています。そんな中、所属チーム・所属学校に関係なく、誰でも通えるサッカースクールを開催することで、中学生のサッカープレー機会の創出と、技術的にレベルアップできる環境を提供しています。 また、就実高校サッカー部と連携し、中学生が「高校でもサッカーを続けたい」と思える環境作りにも寄与していると考えています。
取組の目的・目標	◎取組の目的・目標を社会課題の具体的な状況をふまえて書いてください。 部活動の地域展開について「今後どうなるのだろう」と不安に思っている中学生・小学生、そのご家族は多数います。地域によって実情も異なるため、実態にあった地域展開が望まれますが、今後どうなるか分からない不安な状態だからこそ、チーム・所属学校の枠に縛られず、継続的に選手たちのプレー機会と成長できる場所を提供し、安心してサッカーを続けられる環境を作ってあげることが目的としています。 クラブチームでもない、サッカー部でもない、新しい選択肢として『中学生サッカースクール』を開催し、多種多様な環境に置かれている中学生たちに、安心かつ継続的にサッカーを楽しんでもらいたいと思っています。 また、就実高校サッカー部と連携して取り組んでいる『現役高校生が教える、中学生サッカースクール』では、中学生と高校生が交流を持つことで、サッカーを大人から教わるだけのものとせず、近い年代同士でお互いに学び合う機会を作り、技術だけでなくコミュニケーション能力の向上や、人と人が繋がる環境を提供しています。
取組の内容	◎取組の内容について具体的に書いてください。 1 取組の対象：対象地域、対象者、対象人数など ・中学生サッカースクール 毎週日曜日／18:00～20:00／岡山市立幡多小学校ナイター／対象：中学1年生～中学3年生 2025年10月ごろから試験的にスタートし、これまでに10回開催、延べ参加人数は120人以上 (参加してくれた中学生の主な在籍中学校) 岡山市立竜操中学校、岡山市立高島中学校、岡山県立操山中学校、岡山市立芳泉中学校、備前市立伊里中学校、岡山理科大学附属中学校、岡山大学教育学部附属中学校、岡山市立藤田中学校など ・就実高校×中学生スクール 年に6回程度開催／日曜日／17:00～19:00／就実高校祇園グラウンド／対象：中学1～中学3年生 2025年10月ごろから試験的にスタートし、これまでに7回開催 延べ参加人数は150人以上(中学生)、取り組みに参加してくれた高校生は約30人 (参加してくれた中学生の主な在籍中学校) 岡山市立竜操中学校、岡山市立高島中学校、岡山県立操山中学校、岡山市立芳泉中学校、備前市立伊里中学校、岡山理科大学附属中学校、岡山大学教育学部附属中学校、岡山市立藤田中学校、岡山市立京山中学校、岡山市立高松中学校、岡山市立桑田中学校、岡山市立旭東中学校、岡山市立操南中学校、岡山市立福浜中学校、赤磐市立桜ヶ丘中学校、岡山市立御南中学校、岡山市立操山中学校、岡山市立吉備中学校、玉野市立宇野中学校、矢掛町立矢掛中学校など 2 活動内容、実施方法など ・中学生サッカースクール 毎週日曜日の夕方に約2時間、中学生向けのサッカースクールを開催しています。FC GranSeed(一般社団法人GranSeed)の指導者・スタッフがコーチとして教えており、取り組む内容は、チーム活動ではないため戦術等を教えるのではなく、基礎技術の向上を中心とし、個人のレベルアップを図っています。日頃部活動に通う中学生が中心で、部活動だけでなくプラスアルファで「もっと練習したい」「成長したい」と言う子向けに開催していますが、「中学校からサッカーを始めたから基礎技術を学びたい」と言う子にも需要があります。

また、近年は部活動に対する考え方も多様化しており、「他のスポーツもやりたいから、部活はサッカー部ではないけど、サッカーをする機会は欲しい（サッカーは続けたい）」と言う子も通ってくれています。誰でも気軽に参加できるサッカースクールとして、多種多様なサッカーニーズに応えることもできています。

・就実高校×中学生スクール（現役高校生が教える、中学生サッカースクール）

就実高校サッカー部と連携し、不定期で開催しています。現役の高校サッカー部の選手が、中学生向けにレッスンをを行います。練習メニューから、当日の運営・進行も全て高校生が主体となって取り組んでいます。

下記のコンセプトを掲げて取り組んでいます。

①「高校生のスピード感や技術レベルを肌で学ぶ」

多くの指導者は現役プレーヤーを引退しており、お手本やデモンストレーションの質は落ちています。しかし、岡山県トップレベルの高校生が実際にお手本を見せたり、一緒にプレーしたりすることで、キレのある動きやお手本を見せることができます。現役プレーヤーだからこそ見せてあげられる部分です。

②「高校サッカーに必要な要素を、中学生に落とし込む」

現役の高校生たちも高校サッカーをしていく中で、自分に足りなかった技術を磨いていきます。「中学生の時からやっておけば良かった」と気づいたことや、逆に「これは中学生の時にしっかりやっておいて良かった」と言う部分を、中学生に伝えることをコンセプトに、練習メニューの考案や、スクール当日の声掛けにおいても意識して取り組んでもらっています。

③「応援される選手・チームに」

就実高校サッカー部は、岡山県大会優勝や全国大会出場を目標に日々励んでいます。その中で「地元から応援される選手・チームになる」と言うことを重要視しています。地元の中学生たちと交流を持つことで、実際に就実高校サッカー部に憧れる中学生も出てきていますし、見学に来ている保護者の方々が就実高校サッカー部を応援するようにもなっています。高校生も応援されていることを実感することで励みになり、より一層自分自身がレベルアップすることの大切さを自覚するようになって、相乗効果を生んでいます。

④「お互いが感謝の気持ちを持つ」

教えてもらう中学生は、日々文武両道で忙しくしている高校生に感謝の気持ちを持つ一方で、教える側の高校生も、自分が日頃指導を受けているコーチの方々やこれまでお世話になってきた人たちに感謝の気持ちを持てるようになります。自分が教える立場となって初めて気づくことも多く、そう言った学びの中で高校生たちも成長することを目指しています。

3 工夫した点や取組の特徴

・所属チームや所属学校の枠にとらわれず、誰でも参加できるスクールにした

色々な中学サッカー部に所属している子が参加してくれていますが、他にもクラブチームでプレーしている子や、別の競技をしている子も参加してくれています。サッカーとの向き合い方は多様化しているし、小学生時代にサッカーを経験している子もしていない子も参加してくれており、多様なニーズに応えられるようにしています。

・参加費を月会費(月謝)制ではなく、回数制にした

多種多様なニーズがあるため、「毎週通いたい」と言う子もいれば、「たまに通いたい」と言う子もいます。また、テスト期間は勉強に集中したい子もいれば、テスト期間でもプレーしたい子はいます。色々な人たちが通いやすいように、参加費を月額制にするのではなく1回1,000円～1,500円程度にして、通いやすいようにしています。（練習を休んでも金銭的な損失がないようにしています）

・ゴールキーパーの子が成長できる環境を用意

ゴールキーパーも中学生になれば専門的なポジションになります。「教えてもらいたいけど、そう言った環境がない」と言うキーパーの子も少なくなく、専門的に教えてもらったり練習できる環境を望んでいる子が多数います。フィールドプレーヤーだけでなく、ゴールキーパーも成長できる環境を提供しています。

・潜在需要を創出

小学生向けのスクールは多数ある中で、中学生向けのスクールはほとんどありません。多種多様化するニーズに応えられる形で潜在需要を創出することができたと思っています。

◎取組をWEB等で告知している場合はそのURLを書いてください。

FC GranSeed(一般社団法人 GranSeed) HP <https://fc-granseed.com/>

FC GranSeed 代表佐々木のInstagram @sasaki_granseed

取組の実施期間	始期： 2025 年 10 月～	☒ 継続予定 ☐ 令和 年 月終了 ☐ 令和 年 月頃終了予定 該当するものに ☒ し必要事項を記入してください。
	今後の活動展開など	◎今後の成果の普及や活動展開などについて書いてください。 まだまだ「中学生向けのサッカースクールがある」と言うことが知られていないので、多くの方に認知してもらえよう、発信やPR活動に力を入れていきたいと思います。同時に、スタッフの拡充など多くの選手を受け入れられる体制づくりや、練習環境をより一層良いものにできるよう備品等も整えていきたいと思います。また、高校生に小学生向けのサッカースクールを開催してもらったり、大学生に開催してもらったりするなど、異世代が交流する場を増やしていきたいとも考えています。

協働による効果	◎協働したことにより達成できたことや得られた効果を書いてください。 ・スポンサー企業を募り、資金面で応援してもらうことで、練習環境の充実を図ることができた ・就実高校サッカー部と提携することで、地域貢献に寄与することができた	
協働団体とその役割 ※協働団体が他分野にわたっていることや、各団体の関わりの深さも評価の対象となります。 ※足りない場合は欄を追加してください。	団体名	就実高校サッカー部
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☒ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	「現役高校生が教える、中学生サッカースクール」のレッスン
	団体名	(株)中原製作所
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☒ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	スポンサー
	団体名	有限会社朝日
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☒ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	スポンサー
	団体名	焼肉 BAL アウル
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☒ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	スポンサー
	団体名	いざわ堂整骨院
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☒ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	スポンサー、メディカルサポート
	団体名	
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	
	団体名	
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
役割		
団体名		

	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役 割	
	団 体 名	
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役 割	
	団 体 名	
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役 割	